

アコモード

タイムズ

第52号



編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- デイサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクイール
- デイサービスセンター アクイール
- キッズルーム アクイール
- キッズルーム アコモード
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- 我孫子市我孫子南地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2
Tel.04 (7189) 5201・Fax.04 (7189) 5203

替えがきかない日々の関わり

特別養護老人ホーム アクイール 生活相談員 金井雄司



大寒に入り、一年でもっとも寒い時期となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年から円安による物価高騰の影響で、懷まで寒に入りそうなどころですが、ご入居者・ご利用者に対しては、心温まる、ほっとする場所や笑顔で過ごせる時間をご提供できるよう、寒さに負けず努めてまいります。

ご紹介する写真は、季節の催しや日常のひと時にみえる笑顔を写したものです。このような写真をみて改めて思ったことは、私達はケアを提供するのと同時に、様々なものを受け取っているのだということでした。皆様の笑顔や暖かい言葉に私達も癒され、喜びや達成感を得ることで、仕事の自信にも繋がっています。

さて、昨年は円安だけではなく、気候も異常でした。四月に北海道で桜開花、最速の梅雨明け宣言、六月の季節外れの猛暑日、線状降水帯に



よる記録的な大雨被害、等々。ある報道記事によると、このまま地球温暖化で気候変動がすすめば、コーヒーの栽培に適した土地が大幅に減り、二〇五〇年には充分な供給ができなくなるのか。そこで代替品として海外で開発が進められているのがコーヒー豆を使わない

バイオコーヒー。味も香りも本物そっくりとのことです。



また、AIやロボットに進化でこれまで人間が行っていた仕事の多くが代替されるという話も耳にします。



福祉業界においても、身体的負担を軽減する介助リフトやロボットスーツ、タブレット記録システム、危険や事故を防止する見守りセンサー等、一部代替がすすんでいます。介護人材が不足している今、負担軽減や業務効率化は必要なことでしょう。それでも絶対ロボットや他のものと「代替」ができないことが、写真でもご覧いただいたご入居者・ご利用者への日々の関わりです。

私達はその方の喜び、または不安や苛立ちを理解・共感し、気持ちを感取り取りと寄り添うことができます。日々の喜怒哀楽を分かち合うことができます。これからの替えがきかない仕事に携わっていることに誇りと責任感をもって励んでまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い致します。

住みやすい地域をつくるために

高齢者なんでも相談室の取り組み

地域に住む高齢者の皆様が、住み慣れた我孫子市でその人らしい生活を継続できるよう、専門スタッフが介護・福祉・健康・医療・認知症等の面から総合的に支えるための支援をしている「高齢者なんでも相談室」。

社会福祉法人アコモードでは、布佐・新木地区と我孫子南地区を担当、昨年の取り組みの一部をご紹介します。

令和三年十月三十日(日)、湖北地区公民館コホミンで開催された湖北地区社会福祉協議会主催の「こほく・あらき福祉まつり」で、地域の子どもと親御さんを対象に認知



症講座を行いました。小さいお子さんにも分かりやすいようにと、「おじいちゃん・おばあちゃんに僕が、私が



できることゝものわすれのびょうき」という紙芝居で認知症とはどういう病気

かを説明しました。その後高齢疑似体験へ。そこでは車椅子に乗ってもらったり、軍手をしながら箸で豆をつかむ、新聞をめくる、財布からのお金の出し入れ等をしてもらい、皆さんやりにくさを実感されました。白内障体験では、色のついたレンズ越しに周囲を見ることが見えにくさを体感。

子ども達は熱心に見聞きし、手を挙げて発言もしてくれました。絵とわかりやすい言葉の紙芝居や



体験型の講座で楽しみながら参加できたのではないのでしょうか。

もう一つ、十一月十五日(火)、我孫子駅前のけやきプラザ七階で、講師にアシラネ(NPO法人あびこ・シニア・ライフ・ネット)の山本早苗先生を迎え、高齢者向けのスマー



トフォン講座を行いました。この講座の目標は、「アプリの「LINE」が使えるようになる」でした。令和四年九月二十六日に我孫子市公式LINEアカウントが開設されたことを受け、市政情報や災害時等緊急を要する情報を得てもらう、というねらいもありましたが、参加された高齢の方々は、「子どもや孫とスマホでやりとりがしたい」などの理由があり、それぞれ気合十分で講座に臨まれました。

講座は、先生が全体の説明をする横で、スタッフの方々やなんでも相談室・市役所の職員が個別について

一緒に操作をする形ですすんでいききました。説明で飛び交う「ダウンロード」「アプリ」「フリック操作」「QRコード」等の聞きなれない用語、小さい画面やスマホ特有の慣れない操作に皆さん四苦八苦でしたが、熱心にメモをとられている方も。

残念ながら今回の講座では目標達成とはいきませんでした。皆さんから「また何回も教えてほしい」とのお声があり、アシラネの先生が個別でフォローアップにきてくださることになりました。

このように高齢者なんでも相談室では定期的に講座を開催したり、生活上の相談を受け付けていますので、お困りごとがあればご連絡ください。



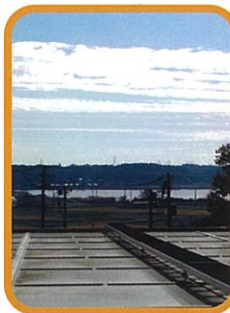
眺めのいい部屋・お気に入りの場所

それぞれの施設から

「うち時間」という言葉が耳になじむようになって数年がたちます。行動制限時では、皆さんそれぞれ家の中の有意義で充実した時間の過ごし方を工夫されたのではないのでしょうか。各施設に入居している方も、敷地の中でのお気に入りを見つけて楽しまれていますので、そのいくつかをご紹介します。



▲障害者グループホーム
アメリカの花壇だった
場所を畑に。
ほうれん草等が育って
います。
水まきが大好きな
ご利用者がいらっしやり、
毎日の楽しい
日課となっています。



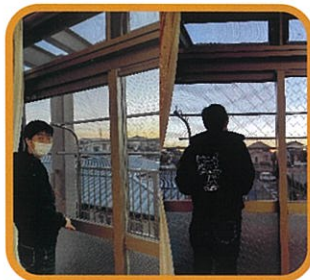
◀特別養護老人ホーム
アキールの2階居室
から望める手賀沼。
部屋から1人で見
る景色に、「贅沢な時間
を独り占めしているよ
うな気持ちになる」と
話される方もいます。



▲畑作業をしている人を見て
「頑張ってるなあ」
「私もやったもんだ」と
昔を懐かしんで
お話をされています。



▲グループホームアンダンテの
ラウンジの窓からの眺め。
一見何気ない景色に見えますが、
ご入居者にとっては楽しみのひとつ。
大きな木々の揺れ具合で
「今日は風が強い」
「涼しそう」等の話のタネに。



▲アメリカ女性棟は高台に
建っているので視界が
開けています。
窓からみえる朝日が好きな
ご入居者。
お気に入りの宮城県気仙沼の
キャラクター「ホヤぼーや」
のパーカーを着て。



◀特別養護老人ホーム
アコモードから見渡せる近隣の緑地。
なんとその内のひとつに
フジテレビ系連続ドラマ
「サイレント」の撮影場所にもなった
「木戸公園」が見えるんです！
(興奮しているのは職員だけですが…)

すぐにその場で写真や動画を共有

特別養護老人ホームアコモード

【インスタグラム開設】

特別養護老人ホーム

アコモードでは、新型コロナウイルス感染拡大予防に伴う面会制限によるご家族やご入居者の不安解消を図る為、令和四年二月にインスタグラムを開設しました。事前に許可を頂いたご入居者の日常や催し時の様子を写真や動画で投稿しています。

ご家族からは、「何度も見返しています」「様子が見られて安心していただけます」等、お電話の他にダイレクトメッセージでもお言葉を頂いており、貴重な交流の場となっています。

また、動画や写真は

どなたでも閲覧可能になっていますので、今後は介護のお仕事に興味がある方等にみていただけるような働きかけができれば、と考えています。皆様ぜひ登録と「いいね」をよろしくお願ひします！

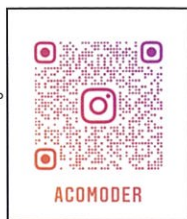
～閲覧までの流れ～



① アプリ「インスタグラム」をインストールしてください。

② 右記のQRコードを読み取ってください。

③ アコモード特養のフォローをお願いします。



その人らしい自立した生活を支える

障害者グループホームアメリカ

障害をお持ちの方がサポートを受けながら共同生活を送る障害者グループホームは、障害者総合支援法で定められている社会福祉施設で、法人内には「アザレア」「アヴァンセ」「アメリカ」の三つがあります。

ご利用者がその人らしい自立した生活を送れるよう支援させていただく上で大切にしていることは、その方のニーズに合わせてタイムスケジュールや接し方を柔軟に変えて対応することです。



平成三十年四月に開設したアメリカでは、ご利用者は日中活動先へ出かけられますが、行先は送迎バスで生活介護や就労支援の施設に行かれる方、歩いてバスや電車を乗り継いで仕事に行かれる方等様々です。帰りが十七時三十分と遅くなる方も。生活のリズムを崩さないようご飯や入浴の

時間を調整し、安心して過ごしていただいています。

開設当初から

ご利用している



伊藤皓宣様(35)に、昨年十一月の休日にお邪魔して今の生活の様子を伺いました。

伊藤様は、障害者施設みどり園から平成三十年五月にアメリカへ移られました。日中は福祉施設のあらしき園に、十八歳から通っているとのこと。お話を伺ったときはお部屋でテレビを観られていました。よくニュースや野球中継を観ているようで、ご自分でも野球の経験がある為「スポーツでは野球が好き」とのことでした。ちょうど野球はオフシーズンでしたが、「もうすぐサッカーが始まるから楽しみ」(二日後にワールドカップ開催が控えていました)と笑顔。また、食事は「ご飯を食べ過ぎないよう気をつけている」と健康管理も積極的でした。

いつもの食事を少し特別にする「外食会」

アキールデイサービス

新型コロナウイルスの流行で、様々な事業所が催しを中止しているなか、アキールデイサービスも年一回行っていた外食会を感染拡大予防の為、見合わせていました。その間、ご利用者からは「お食事会行きたいねえ」「今年も中止するの?」と毎年リクエストをいただいていた。そこで

令和四年の十月から十一月にかけて、三年ぶりに外食会を再開することに。



もちろん、手洗い消毒の徹底、一度に出掛ける人数を減らす代わりに期間を増やす等、感染対策はしっかりと行いました。

お店は【小暮や・西周(鰻)】、大京、コメダ珈琲、旭庵(蕎麦)のなかから好きな場所を選んでいただきました。ダントツ一番人気だったのが鰻の【小暮や】。市内でも有名なお店で、選んだ方々も、「この鰻は美味しいのよね」「その分値段も高いけど」と、舌鼓を打っていました。他には【大京】の握り寿司や、【コメダ珈琲】のシロノワールも人気があり、「普段食べないものを食べられて嬉しかった」と話されている方もいました。



成長に合わせた過ごし方でのびのびと



アンジェリカ保育園

アンジェリカ保育園では、これまで昼食後に一律お昼寝の時間を設けていましたが、個別対応を進める一環で、お昼寝時間の見直しを行いました。それに伴いだんだんと年長、年中組はお昼寝しなくても元気に過ごせるようになりました。今まで以上にのびのびと元氣よく遊び場を駆け回っています。

そんな中、昨年の夏にエアコンが故障してしまったことがありました。新しいものに取り換える際、これまで2階バルコニーを占領していた大型室外機を、スペースを有効活用する為に建物の外へ移動することに。建物脇の植栽場所をコンクリートで固める前に、土を園庭の砂場へ移すことになりましたが、お昼ご飯を食べて元氣一杯の男の子達が、お手伝いをしてくれました。シャベルを上手く使って土をすくい荷車へ。土がたまったら荷車を押してぐるっと園庭まで移動。体重をかけて荷車を傾け砂場へ降ろす。大人がやってもかなりの重労働でしたが、疲れる様子もなく「もつとやっついていい?」と笑顔を見せてくれました。



三年振りの開催で天気も祝福

第二十八回手賀沼エコマラソン参加・応援しました!

令和四年十一月三十日に開催された「第二十八回手賀沼エコマラソン」、三年振りという事で、楽しみにされていた方も多かったことでしょう。

アクイールデイサービスで勤務している今崎孝則さんもその一人で、毎日の走り込みはもちろん、毎週どこかのマラソン大会に出場する程マラソン好きな今崎さん、エコマラソンも十回以上走っていて「地元の大大会は気合が入る」と東京オリンピックのユニフォームを着てハーフマラソンの部に挑みました。

大会当日はマラソン日和の快晴で、七千五百人程が参加されたとのこと。特別養護老人ホームアクイール前の道路がコースになっており、ご希望されたご入居者は沿道まで出てこれられ拍手などで応援しました。アクイールの前は丁度十三キロ地点、ランナーにとって苦しいアップダウンの多い所でもあります。ご入居者からは「もう少ししたら下りになるから頑張れ!」「歩くな走れ!」と激励の言葉が聞かれました。



今崎さんの最終タイムは二時間十三分。残念ながら前回タイムの更新はなりませんでしたが、皆さんの応援を受けながら楽しく走り切ることができました!



〈介護福祉士〉

資格取得報告
令和四年



蓮見 綾子 さん
(アクイール特養)



蛭田 怜鷹 さん
(アクイール特養)

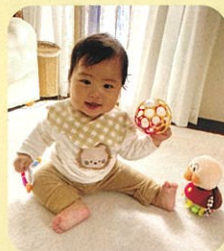


川上 沙紀子 さん
(アクイール特養)



小林 志利 さん
(アクイール特養)

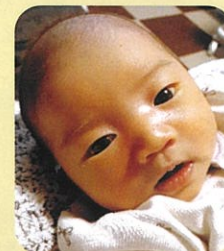
健やかに
育っています！



遠藤 千尋 さん
(アンジェリカ保育園)
令和4年4月7日 第2子
椿大(つばき)くん



田村 かなえ さん
(アンダンテ)
令和4年6月27日 第2子
天(そら)くん



笹本 歩紀 さん
(アクイール特養)
令和4年1月24日 第2子
桜冬(おと)ちゃん

出産報告



「ちばSDGsパートナー」に登録しました！

「持続可能な世界」を
達成する為に、
法人全体で
取り組んでいきます！



ちばSDGs
ちばSDGsパートナー 353号



根本 理紗 さん
(アンジェリカ保育園)
令和4年11月18日 第1子
莉子(りこ)ちゃん



太田 有理 さん
(アンジェリカ保育園)
令和4年5月9日 第2子
渚(なぎさ)ちゃん

編集後記



カタールで行われたサッカーワールドカップは、アルゼンチンの三回目となる優勝で幕を閉じました。日本は前大会同様のベスト十六で惜しくも敗れましたが、今後の可能性を感じさせてくれる戦いぶり、その後世界ランキングでも順位を上げました。

新型コロナウイルス流行の影響で延期された冬季オリンピックが二月に開催されたので、去年は一大スポーツイベントで沸いた一年でもあったのかと。

個人的に熱狂したのが十二月に史上初世界バンタム級四団体統一王座の偉業を成し遂げたプロボクサー井上尚弥選手。家族は「興味なし」なので、スマホで試合動画をひっそりと何度も見返しています。

そして今年の三月に開催されるのが野球のワールドベースボールクラシック。こちらはテレビ画面で家族みんなで応援する予定です。頑張れ日本！